

# 島根 更生保護

NO.172

(平成24年1月1日発行)  
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉	
保護司総数	498人
保護観察事件	171件
生活環境調整事件	200件 (23.12.1現在)



尼子經久銅像 (安来地区保護司会事務局長 楳野光範提供)

## 「特別調整」制度について



松江刑務所長  
吉村 勝 正

新年明けましておめでとうございます。

平素は、更生保護に携わる皆様の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ところで、表題の「特別調整」については、平成21年度からの新しい施策であり、松江保護観察所や島根県地域生活定着支援センターと連携して、当所から出所する概ね65歳以上の高齢者や、知的、身体及び精神に障害があり、帰住先等がない人に対して、再犯防止の観点も含め、本人同意の下に、住む所や釈放後に必要となる福祉サービスが直ちに受けられるよう、刑務所在所中から支援をする取組みです。

そもそも、受刑者に対して、罪を犯さないように指導することは最も重要です。

しかし、特に特別調整に該当するいわゆる「弱者」については、我々の指導のみでは限界があることもまた事実であります。

したがって、皆様を初めとする関係の方々と手を携え、その人達が再び犯罪者とならないよう支援し、何より、犯罪の被害者を出さないようにすることも、「犯罪者処遇のプロ」であり、「社会の治安の最後の砦」である刑事施設に勤務する我々に求められていることの大きな一つであると考えています。

今後も、当所におきましては、本施策のほか、受刑者の改善更生と社会復帰を図るため、薬物依存離脱や暴力団離脱などの各改善指導の充実や職業訓練、就労支援策などに意を用いていく所存ですので、今後とも御高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 新年を迎えて



松江保護観察所  
所長 安田 健二

明けましておめでとうございます。

更生保護関係者各位におかれましては、御家族お揃いで健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素、更生保護に多大な御支援と御協力を賜り、心から厚く御礼申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして益々幸多い年でありますようお願い申し上げます。

### 恭賀新年



鳥根県保護司会連合会  
会長 坂本 圭祥

新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げますとともに、更生保護関係者各位のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

安心・安全な地域社会の構築を目指し、地方公共団体を始めとする関係機関・団体と更に綿密な連携を取り、更生保護事業に努力する所存でございますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

### ご挨拶



更生保護法人鳥根保護観察協会  
理事長 溝口 善兵衛

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年も更生保護事業の一層の充実・発展に取り組むとともに、安全・安心な社会の実現に向けて積極的に寄与して参る所存でございます。

更生保護関係者の方々には変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 新年のご挨拶



更生保護法人鳥根更生保護会  
理事長 福田 和夫

新年明けましておめでとうございます。

当保護会の事業推進のため、ご理解とご協力をいただいております、心からお礼申し上げます。

さて、施設の全面改築も準備を重ねてまいりましたが、いよいよ本年夏に着工し、明年3月に完成いたします。これまで各位には格別のご協力を賜り感謝いたしておりますが、引続きご指導ご援助の程をお願いいたします。

## 新年のご挨拶

### 新年のご挨拶



鳥根県更生保護女性連盟  
会長 尾崎 修子

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

新年が幸多くよき年でありますように祈念し、母の愛をスローガンにかかげ、全ての地域に即応した更女活動を展開して参りたいと存じ居ります。関係機関、会員皆様のご協力を引きつづきよろしくお願い申し上げます。

### 新年のご挨拶



鳥根県BBS連盟  
会長 本宮 和也

新年明けましておめでとうございます。

今年は昨年以上に社会貢献活動や社会を明るくする運動、青少年支援センターでの学習支援、ともだち活動等様々な活動に前進して行きたいと思っております。関係団体様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、今年もご指導・ご鞭撻の方をよろしくお願い致します。

### 謹賀新年



鳥根県協力事業主会  
会長 坂根 勝

明けましておめでとうございます。

本年も、各地区会間相互の連絡調整を支援すると共に、引続き更生保護関係機関・団体との連絡協調を推進して参ります。特にNPO法人「鳥根県就労支援事業者機構」と、より充実した関係となるよう取組みたく思っております。

どうか関係各位のご協力ご指導をよろしくお願い申し上げます。

### 謹賀新年



NPO法人鳥根県就労支援事業者機構  
会長 若佐 博之

明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災の未曾有の津波被害から、「絆」の重要性が認識され世界に発信されました。

戦後自由主義の台頭から、ともすれば失われかけていた「絆」が復活する絶好の機会です。本年がその「絆」復活の年となるよう皆様とともに祈りたいと思っております。

# 平成23年度 島根県更生保護事業者関係顕彰式典

平成23年11月18日（金）松江市総合福祉センターにおいて多数の更生保護関係者が参集し、本年度の顕彰式典が行われました。当日は笠原和男中国地方更生保護委員会委員長、古田浩松江地方・家庭裁判所長、石田一宏松江地方検察庁検事正、穂葉寛佳島根県健康福祉部青少年家庭課長、杉谷郷松江刑務所首席矯正処遇官、仁ノ平肇松江少年鑑別所長、光岡浩昌島根あさひ社会復帰促進センター首席矯正処遇官、若佐博之特定非営利活動法人島根県就労支援事業者機構会長、坂根勝島根県協力事業主会長のご臨席を賜り、坂本圭祥島根県保護司会連合会会長の式辞、安田健二松江保護観察所長の挨拶につづいて、永年更生保護事業に功績のあった165名の方に表彰状が、60団体・131名の方々に感謝状が贈呈されました。

表彰が終わってから、受彰者を代表して川角義信保護司（邑智）の謝辞があり、来賓としてご来場いただいた笠原委員長、古田所長、石田検事正、穂葉課長（島根県知事祝辞代読）の祝辞をいただいた後、是津輝和島根県保護司会連合会常務理事の万歳により式典を終了しました。



## 平成23年度 各種表彰受彰者 (敬称略)

### 法務大臣表彰

松原紀子（松江）  
近藤佳郎（安来）  
加本恂二（雲南）  
足立進（出雲）  
來海正和（出雲）  
小林昌次（大田）  
川角義信（邑智）

小松ミチ子（浜田）  
大源富夫（浜田）  
福郷孝司（益田）

### 法務大臣感謝状

角美登利（安来）  
昌子難江（広瀬）  
家島佳子（松江）  
別所みさ子（松江）  
田中篤美（安来）

倉橋裕子（雲南）  
河瀬康承（出雲）  
増澤寛順（大田）  
渡邊和夫（大田）  
杉田雅弘（浜田）  
山田實（益田）  
橋本貴美子（隠岐）  
〔内助功労者〕  
三木知子（雲南）  
川角和子（邑智）

全国更生保護法人連盟理事長表彰  
中村晴洋（保護会）  
日本更生保護女性連盟会長表彰  
市川節子（松江）  
足立松子（出雲）  
賀戸ヨシエ（江津）  
有田キミ子（鹿足）

## 薬物事犯対象者に係る「引受人会」を開催

平成23年10月27日（木）、松江保護観察所において、薬物事犯対象者の家族等の引受人の方々（当日は6名出席）に集ってもらい、日頃から抱えている不安等の解消及び本人に対する援助方法等について理解を深めてもらうことを目的に標記引受人会が開催されました。

8月2日の「薬物事犯対象者に係る処遇研究会」に引き続いて招待したNPO法人「鳥取ダルク」の千坂雅浩施設長の講話の後、座談会の助言者としても御協力いただき、有意義な時間を過ごしました。





受章者

更生保護功勞による  
叙勲・褒章（敬称略）

瑞宝双光章 高橋隆興（浜田）



保護司活動をふりかえる

高橋隆興

私が保護司を拝命したのは昭和52年3月16日でした。

この度、平成23年、秋の叙勲に因らざるも瑞宝双光章の榮に浴しましたことは、身に余る光榮と心から感謝申し上げます。

去る11月9日、法務省にて伝達式を終え、引き続き皇居に参内、春秋の間に於いて、天皇陛下御病気のため、皇太子殿下に拝謁の榮を賜り感激の極みでございました。

保護司の拝命を受けて34年、全く白紙の状態から、研修会、先輩や諸先生方の親切なご指導を頂いて曲りなりにも務めを果たすことができました。

更生保護事業にかかわって参りましたが、決して充分なことは出来ておりませんが、今日まで来られたのも皆様方のご支援の賜と感謝申し上げます。

今回の受章はひとえに松江保護観察所の職員の皆様、保護司の先生方の温かいご指導、ご鞭撻の賜と感謝申し上げます。

今後はこの榮譽に恥じないよう微力ではありますが、精進いたす所存でございますので、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛の図書贈呈式

平成23年12月6日松江保護観察所において、島根県更生保護女性連盟による第51回「愛の図書贈呈式」が行われました。尾崎修子連盟会長、安田健二松江保護観察所長の挨拶の後、尾崎会長から下記の11施設の代表の方へ“愛の募金”による「図書」が贈呈されました。贈呈式後、受領者を代表して益田児童相談所長から謝辞がありました。



松江刑務所 島根あさひ社会復帰促進センター 美保学園 松江少年鑑別所 わかたけ学園 中央児童相談所 出雲児童相談所 浜田児童相談所 益田児童相談所 島根県女性相談センター 島根更生保護会

更生保護施設の全面改築について

更生保護法人 島根更生保護会

理事長 福田和夫

明治44年2月松江市北堀町の民家を借り、更生保護事業を始めてから、今年で100年を迎えました。

当時は免囚保護に対して世情は冷たく、三度も転居を余儀なくされています。

大正2年に現在地に財団法人島根授産会を設立して、宗教団体等の支援を受けて事務所と寮生の宿泊所を建設しました。その後機構改革をして、事業の拡充と経営の安定を図り、昭和8年に敷地を拡張して、本館の改築と収益事業のための借家の建設をしています。

戦時中、戦後しばらくは収容者も少なく、事業の休止状態もありましたが、制度も改革され、改善整備につとめ、施設の改装を施工し基盤を整えるに到りました。

平成に入り、一時的に収容者の減少もあって、経営困難の時もありましたが、各方面からの援助によって窮地を乗り越えて来ました。

平成8年更生保護事業法の施行によって、更生保護法人島根更生保護会と改組して今日に到っております。

現在の施設は、昭和41年に改築しておりますが、

半世紀近く風雨にさらされて老朽化が進んでおり、処遇面でも支障を来す状態になりましたので、平成10年に役員会において、平成23年の創立100周年を期に、全面改築を決議いたしました。

改築のための建設懇話会、小委員会を組織して準備にかかっておりましたところ、法務省の更生保護施設大規模整備事業第4次5カ年計画のなかに組み入れられ、24年度に全面改築することに決定いたしました。

役員全員でもって、建設準備委員会を組織し部会の活動に入りました。

中国ブロック管内の施設はもとより、新しく改築された四国・九州の施設を訪問し、資料を集め、処遇を第一に、多様化している処遇面での対応、地域のこと等を考慮して設計図を作りました

工事は、本年夏に着工、25年3月の完成を予定しております。

建築資金については、更生保護事業振興財団、JKA、自治体、関係支援団体に助成・補助をお願いする一方、一般企業、個人に対しての浄財をお願いし、最後の追い込みをかけているところでございます。

ご多端の中、更なるお力添えを賜りますようお願いいたします。



### 更生の力

出雲地区保護司会 木村 崇

視点

焦点

7月上旬、いずもサポートセンター及び出雲地区保護司会では「社会を明るくする運動」の一環として、大社中学校と斐川西中学校に杉山裕太郎氏を招いて、コンサート&トークショーを開催した。10代の頃、杉山氏は自暴自棄に落ち入り、暴走族のリーダーとなって非行を繰り返した上、深刻な薬物乱用に苦しんだ。そのような折、両親の愛情あふれる言葉と父親からの抱擁をきっかけに、更生への道を歩む。

自らの貴重な体験をもとに、無償の愛をきちんと伝え合うことによって、人と人との絆を強くすることの大切さを杉山氏が力強く語ると、参加した中学生や一般の人々は深い感動の渦に包まれた。近年、性犯罪者や薬物乱用者の増加、人の生命

が簡単に奪われてしまう事件が続く世相の中で、保護司としての無力を感じていた。自らを深く省みる時、自分自身が危うい存在であることに不安を覚える。このような時に、杉山氏の貴重な体験談を聞く機会を得た。対象者との信頼関係を深め、カウンセリングマインドに徹して、謙虚かつ真摯に更生保護の活動に向き合いたいと決意を新たにしたところである。

先般、大社支部では、保護司会と更生保護女性の会の皆さんとの協議会を持った。忌憚のない意見を重ねながら、①地域社会の中に更生保護のための温い土壌をつくること、②青少年健全育成の活動の中から、子どもたちへの自立心の育成と、人と人との共存のバランスをはかることの大切さを確認、推進することを誓い合った。

### 保護司候補者検討協議会について

益田地区保護司会 会長 神一紀道

地区だより

江津市更生保護女性会 波積地区

田儀セツ子

遅ればせながら、平成22年度から保護司候補者の推薦を保護司候補者検討協議会（以下、「協議会」という）に委ねることになった。保護区をいくつかの地区に分割し、欠員のある地区毎に協議会を組織することとした。地区民運動会や文化祭など地区の行事の多くは公民館を中心として実施されており、公民館は地区の情報が集まる所であることから、原則として公民館単位に協議会を組織することとした。

既に、数地区で協議会を開催したが、どの地区でも協議会の委員の選任や会場提供など、公民館長さんが積極的に協力して下さり、非常にスムーズに保護司候補者の選考がなされている。まず1回目の会議では、観察所の企画調整課長に「更生保護」や「保護司の活動」について説明していただき、委員の皆さんに、保護司について十分理解していただいた上で、1～2カ月の猶予をおいてその間に保護司候補者を挙げていただき、2回目の会議で保護司候補者を決定する。といった流れである。

所期の「幅広い人材の中から公平かつ民主的に保護司候補者を選考する」という目的の達成は勿論であるが、協議会の委員は地区のリーダーでありそういった方々の保護司に対する理解が深まったことは望外であり、今後の保護司の活動に大いに資するものと思われる。

江津市の最東部に位置する波積地区は、高度成長期を境に少子高齢化が進み過疎の町となりました。それでも豊かな自然に恵まれ、その中で大人と子ども達もいきいきとされております。

更生保護女性会と民生委員、社協支会がしっかりと手をつなぎネットワークのもと、子どもを見守り、世代間交流の取組をしております。この流れの中で伝えていかなければならない躰、ルールを遊びを通して子どもから大人、大人から子どもへ学びあっております。あたたかい眼差しで次代を担う子どもたち一人ひとりを心から愛し育み、高齢者に優しい明るい社会づくりのため知識を得て行動の出来る更生保護女性会、会員として支えあいたいと心から念じております。



# 第61回社会を明るくする運動 作文コンテスト 島根県最優秀作品

## 小学生 の部

### 小さな思いやりの大切さ

浜田市立美川小学校 6年

小 笹 優 希

スーパーの駐車場や公共施設などの人がたくさん集まるような場所には、優先席や優先スペースがよく見られます。その中には、お年寄り優先、車いす優先、妊婦さん優先などいろいろな人を対象にしたものがあります。

この夏、私は大阪の水族館へ行きました。その水族館はとても人が多く、水そうの周りに何重もの人がきができていて、水そうの中の魚がなかなか見えませんでした。

ふと私が足元を見ると、水そうに一番近い辺りに、『子ども、車いす優先』という文字が書いてありました。でも、そのゾーンには大勢の大人がいて、そのゾーンに入って見ることはできませんでした。辺りに車いすの人はいませんでしたが、子どもはたくさんいました。そして、私も含め、背が高くない子どもは、水そうの魚がほとんど見えなくて困りました。私は魚が見られなくてがっかりしたのと、少し腹がたちました。そして、自分の中でいろいろ考えました。

優先席や優先スペースのことは、ふだんあんまり気にしてなかったけど、こうして自分が困る経験をしてみて、初めてその対象になる人の気持ちがわかってきます。せっかく優先席などを作ったとしても、そこを条件に当てはまる人が使えなければ、まったく意味がありません。その場所に気づき、そのうえで、そこを使うかどうかは、個人の良心、思いやりの問題だと思います。「困った人がいたらうごけばいいや」と思っている、その人の存在に気づいてあげられなかったり、あまりに人が多すぎて、自分がうごくくらいではどう

にもならなかったりする時があるでしょう。だから、常に、そういう優先席のような特別な場所はあけておかないといけないと思うのです。

私もよくあるのですが、誰にも「自分を優先したい、してほしい」という気持ちがあると思います。でも、だからといって、自分より困っている人をそっちのけにして自分を優先していいかというと、絶対にそんなことはありません。「自分一人ぐらいならいいだろう」と、誰もが自分中心のふるまいをすると大変なことになるでしょう。でも、もし反対に、「自分がちょっとがまんすれば……」という気持ちで誰もがふるまったとしたら、社会全体に思いやりの心があふれ、きっとあたたかい、すてきな世の中になるでしょう。

私は水族館で自分が困ってみて初めて気づきました。一人一人の小さな思いやりが大切なことを知りました。これから先、たくさんの人が利用するような場では、周囲に思いをよせ、優先席などの特別な場所を大切にしたいと思います。また、たくさんの人に優先席などの意味を正しく知ってもらいたいと思います。

小さな思いやりの心を、世の中の全ての人を持ったとしたら、それは大きな思いやりの心になります。そんな世の中になったとしたら、そこに住む私たちは、きっと安心して、毎日を笑顔で楽しく過ごせることができると思います。

私にできること。それは今日から小さな思いやりの心を忘れることなく、毎日持ち続けて生活していくことです。

中学生  
の部

## つながり

浜田東中学校2年  
北村百花

私の父は、私が2歳のときに亡くなりました。私と父の間には、思い出と呼べるものはまったくありません。でも、いつからか、父のことを知りたいと思うようになりました。

2年生の6月、職場体験学習があると聞いて、私は、父が生前勤めていたパン屋さんに行きたいと思い、職場体験先希望調査にそう書きました。母の口から、父の人柄について聞いたことはありましたが、母以外の人からも、話を聞いてみたいと思ったのです。

晴れて私はそのパン屋に行くことになりました。私は、何か失敗したらどうしよう。怒られるかもしれない、と緊張していました。しかし、そんな私に、職場の方は「よく来てくれたね。」と教えてくださいました。そして、「僕は北村さんのお父さんにパンの作り方を教わったんだよ。」と言いながら、私にパン作りを教えてくださいました。父が職場で後輩に教えていたことを11年もの年月を飛び越えて私が教わっていることを、私は不思議に思うとともに、なんだか少し誇らしい気持ちになりました。それは、自分のクラスの他の子達も、姉だって体験していない、父親の仕事を私だけが体験できることが嬉しかったからです。

私は、パンを作りながら、父の話をたくさん聞きました。

「北村さんはね、とてもおもしろい人だったんだよ。でも、仕事の面では厳しいところもあって、自分がいけないと思うことがあればきちんと叱ってくれたんだ。」

「北村さんのお父さんと二人でパン作りをして、失敗したこともあったんだよ。」

それらは私の知らない父の姿でした。職場体

験学習の2日間で、私の中ではぼんやりとした記憶にしかなかった父が、形を帯びてくるように感じました。

また、そのパン屋さんは障がい者の方をたくさん雇用しておられます。父は、障がい者の方たちをまとめ、引っ張っていく立場だったそうです。それは、他の会社で働くより大変なことも多かったのではないかと思います。でも、その中にも父なりの喜びがあったはずです。だからこそ、職場の皆さんから聞く父は、明るくておもしろい人だったのだと思います。

私は学校で、友達が父親とけんかした話などを聞いた時に、内心うらやましいなあと思っていました。「お父さんなんか大嫌い。」という友達がいても、それさえも私にとってはうらやましいのです。私は父とけんかしたこともなければ、好きとも嫌いとも感じたことさえないからです。

でも、今回の体験を通して、私は、父が残してくれた「つながり」に触れることができました。もし父が、職場の方といつながりを持っていなかったとしたら、こんなに私の心に残る体験にならなかったかもしれません。私は今、多くの人とつながって生きています。時々、友達に言わなくてもいいことを言って、自分からつながり壊してしまっ、その後、後悔することもあります。でもそのとき助けてくれたのも友達でした。また、落ち込んでいたときに気付いてくれて、話を聞いてくれるのは、家族です。私はこれから大人になって、今よりもっと多くの人とつながって生きていくことになると思います。これからも、出会った人たちとのつながり大切にしていきたいと思

# 第61回社会を明るくする運動 作文コンテスト入賞者

応募総数655点（小学校394点・中学校261点）

## 【小学生の部】

- 最優秀賞（島根県推進委員会委員長賞）  
小笹 優希（浜田市立美川小学校6年）  
「小さな思いやりの大切さ」
- 優秀賞（島根県保護司会連合会長賞）  
中野 流伽（雲南市立寺領小学校4年）  
「仲よくなるコツ」
- 優秀賞（更生保護法人島根保護観察協会理事長賞）  
村上 新（隠岐の島町立有木小学校3年）  
「ぼくの宝物」
- 優秀賞（島根県更生保護女性連盟会長賞）  
小野木美里（浜田市立雲城小学校6年）  
「きんたわらべ花太鼓から学んだこと」  
永見あいか（雲南市立寺領小学校4年）  
「私の気持ち、みんなの気持ち」
- 優秀賞（島根県BBS連盟会長賞）  
吉岡美加子（松江市立城北小学校6年）  
「日本を明るくするために大切なこと」  
飯野 太朗（斐川町立莊原小学校6年）  
「思いやりは笑顔」
- 優秀賞（山陰中央新報社賞）  
藤田聖玲菜（浜田市立雲雀丘小学校6年）  
「言葉は生きている」  
錦織 礼実（島根大学教育学部附属小学校6年）  
「あいさつをすると」

## 【中学生の部】

- 最優秀賞（島根県推進委員会委員長賞）  
北村 百花（浜田市立浜田東中学校2年）  
「つながり」
- 優秀賞（島根県保護司会連合会長賞）  
舟木みな美（松江市立湖北中学校3年）  
「少年院の姿」
- 優秀賞（更生保護法人島根保護観察協会理事長賞）  
内田 篤志（出雲市立大社中学校3年）  
「日本人の持つ人権の課題」
- 優秀賞（島根県更生保護女性連盟会長賞）  
宮内 敦也（津和野町立木部中学校3年）  
「地域の行事に参加しよう」  
木村帆菜美（江津市立青陵中学校2年）  
「今度は私から」
- 優秀賞（島根県BBS連盟会長賞）  
渡邊 拓己（出雲市立浜山中学校3年）  
「身近な体験から少年の事件や事故をなくすには」  
小川 愛希（江津市立江津中学校3年）  
「犯罪のない平和な町作りをめざして」
- 優秀賞（山陰中央新報社賞）  
長見 亜美（浜田市立第一中学校1年）  
「あいさつをしよう」  
石飛 萌恵（出雲市立多伎中学校2年）  
「勇気」

（小学生の部で中野流伽さんの作品は、全国レベルでの審査の結果、日本BBS連盟会長賞に決定しました）

## 保護司の異動

〔退任保護司〕 8名（平成23年11月30日付け）

高橋 信義（安来）	高橋 久美子（浜田）
岩田 耕（安来）	城市 勝房（益田）
柳 樂利子（出雲）	河野 喜子（益田）
田平 廣香（大田）	前田 實（隠岐）

〔新任保護司〕 5名（平成23年12月1日付け）

安達 紀雄（安来）	舩山 久己（益田）
藤原 常義（安来）	渡部 信行（隠岐）
永田 一博（雲南）	

### ご支援ありがとうございました

（島根保護観察協会） 敬称略

高橋 隆興	100,000円
中山 アイ子	30,000円

### 島根更生保護観察協会では 随時ご寄付をお願いしております。

寄付金に対しては、寄付金控除が受けられます。また次のとおり顕彰もあります。

法人	1,000万円以上	紺綬褒状
個人	500万円以上	紺綬褒章
法人 個人	20万円以上	法務大臣感謝状
	10万円以上	中国地方更生保護委員会委員長感謝状

## 敬 弔

下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

保護司 中山 智之（安来）  
（平成23年10月9日死亡）

元保護司 佐々木 弘観（出雲）  
（平成23年10月10日死亡）

元保護司 長 峯 光男（益田）  
（平成23年12月16日死亡）

### （表紙写真説明） 尼子経久銅像

月山富田城のふもとと三日月公園の一角に尼子経久の銅像がある。出雲の国の守護代となった尼子氏は経久（1458～1541）の代になり山陰山陽11か国を手中にする大守となった。戦いは勇猛で人にやさしい武将であった。